

vol.63 アイアム

LOGO DESIGN by Aimi Kawagoe

男女共同参画推進員の活動を紹介します

男女共同参画・子ども家庭センター 開催講座・イベントレポート

9/22、9/29、10/6 管理職準備講座

目指そう！
女性のキャリアアップ



11/27 子育てパパカレッジ

パパとかんたん
クッキング♪



9/11 家庭生活充実支援講座

家族で防災を
考えよう♪



11/7 企業向け女性活躍推進セミナー

企業出前講座

男女共同参画推進員の活動をご紹介します

男女共同参画推進員とは…

男女共同参画社会を実現するには、市民の皆様にも男女共同参画への意識を持っていただくことが最も重要になります。そのためには、生活に最も身近な地域で、男女共同参画を推進・実践する場を設けることが必要です。

福井市では、公民館区（49地区）から推薦いただいた方を男女共同参画推進員（2年任期）として委嘱し、地区や公民館ブロックにおいて、普及啓発活動を展開しています。



公民館ブロック内の推進員が連携・協力して活動しています

令和3・4年度 男女共同参画推進員の活動

令和3・4年度は全ブロックが『女性の地域活動への参加・参画の推進』をテーマに活動を実施しました。1年目の令和3年度には、地域の男女共同参画に対する意識と現状を把握するため、アンケート調査を行いました。

地域団体への男女共同参画に関するアンケート

調査対象

自治会連合会、自主防災組織連絡協議会、公民館運営審議会（全地区）、まちづくり団体、PTA、子ども会育成会（14地区）の団体長及び所属する会員

調査内容及び回答数

- ①男女共同参画に関するヒアリング（地域団体長） 187団体
 - 組織メンバーの選出方法
 - 女性の意見を取り入れる工夫 など
- ②男女共同参画に関するアンケート調査（地域団体に所属する会員） 2,486人
 - 女性が地域活動へ参加しづらい理由
 - 男性が優遇されていると感じる場面 など

主な調査結果

- 地域活動に女性の参画が少ない理由
自治会連合会や自主防災組織の活動は、「男性（世帯主）がするもの」という固定観念や、女性は「家事・育児・介護で忙しい」という考えから、男性は地域活動、女性は家庭という役割分担意識があった。
- 女性の視点が取り入れられていないと思う場面
男性、女性ともに「自治会活動」が最も多く、次いで「防犯活動」、「防災活動」が多かった。
- 男性が優遇されていると感じる場面
「会長等の役員を男性から選んでいること」、「世帯主は男性（長男）」、「地域行事や会議等で女性が書記・雑用係・お茶出し等となっているとき」という回答が一定数あった。

まとめ

地域の各種団体においては、「会長等、役員は男性から選ぶ」、「活動内容に応じて、はじめてから性別で区別する」といった雰囲気や慣習があることがわかりました。性別により役割が決めてしまう原因には、「固定観念・無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」があると考えられています。そのような意識を解消するためには、従来からの考え方・制度を見直すことや、地域で暮らす一人ひとりの意識を変えていく必要があります。今後は市と男女共同参画推進員が起点となり、女性の地域活動への参加呼び掛け、女性が活動しやすい環境づくり、リーダー的役割を担う女性が増えていくような働きかけを行うことで、地域での男女共同参画意識の醸成を図っていきます。

- アンケート結果ホームページ
<http://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/jinken/danjyo/p024654.html>



令和4年度は、アンケート調査結果に基づき、各ブロックにおいて、今後の地域における男女共同参画社会づくりへ向けた意識啓発活動を行いました。

1月には、全ブロックの推進員が集まり、2年間の活動を発表する成果発表会を開催。活動発表やパネル展示を通じ、ブロック間の交流や今後の活動への意識を高めました。

福井市では、第6次男女共同参画基本計画において、みんなが輝く 幸せを実感できる「男女共同参画都市」ふくいを目指しています。推進員の活動は、その実現へ向けた大切な取組の一つです。

各ブロックの主な活動

あたごブロック

講演会の開催

「男女共同参画」について、自分たちも地区の方々と一緒に勉強したいという思いから、塚本利幸教授（福井県立大学）による講演会を開催。参加者からも活発な意見や質問があり、とても有意義な講演会となりました。



不死鳥ブロック

啓発チラシの作成・配布

啓発活動をとにかく広く知ってもらうことが一番との考えから、アンケート結果を踏まえて作成した啓発チラシを全戸配布し、公民館ではパネルを展示しました。住民の方からは、「チラシから推進員の取組がよくわかった」等の反響がありました。



みなみブロック

川柳コンテストの実施

「第2回川柳コンテスト」を2年ぶりに実施。募集から審査会を経て、入選者を決定し、表彰しました。応募作品は公民館だよりへの掲載や各公民館へのパネル展示等で公表。今後もこのような活動を継続し、更なる定着を図りたいとの声がありました。



あずまブロック

小学校出前講座の実施

1年目の各種団体や新成人に対するアンケートでは、老若男女とも女性活躍に向けた意識が高まりつつあると感じました。2年目はコロナ禍で実施できていなかった出前授業を啓蒙地区で再開し、活躍されている女性をお招きした勉強会を行いました。



九頭竜ブロック

朗読劇・座談会の開催

九頭竜ブロックでは、「人間 = 男女」の共同参画を探りました。1年目は全地区での取材、2年目は朗読劇を制作し、上演と座談会、演奏会等を開催しました。「老若男女」が共同するこちよい世界には互いを想い合った共同の仕組みがたくさんありました。



光ブロック

川柳コンテストの実施

「昔と今の暮らしの中で男女の立場や役割が変わったなあ、変わっていないなあ」「こんな男女共同の未来になってほしいなあ」と思うことをテーマに川柳を募集。100件近い応募があり、川柳を通じ、男女共同参画について改めて考えていただく機会となりました。



川西ブロック

若年層へ向けたアンケート調査の実施

地域活動に関わっている若い世代（30～40代）が男女共同参画についてどのように考えているのかを知るため、体育振興会やPTAにアンケート調査を実施。その結果、若い世代では、男女共同参画への理解が進んでいることがわかり、啓発活動を行ってきた成果を感じました。



足羽ブロック

啓発パネルの展示

活動2年目は、1年目のアンケート調査結果をもとに報告書を作成し、アンケートの回答に協力いただいた団体等にフィードバックを行いました。また、地区住民の方に調査結果を知ってもらうため、報告書の内容をもとにパネルを作成し、各公民館で展示しました。



福井市男女共同参画推進員 成果発表会を開催

災害時の課題を解決するには、女性を含めた「みんな」の声を必要だと話されていました。

開催日 | 令和5年1月28日（土）13:30～15:45

会場 | 福井県生活学習館（ユニー・アイふくい）1階 多目的ホール

参加者 | 男女共同参画推進員、公民館長、自主防災組織連絡協議会、福井男女共同参画ネットワーク等

●活動発表

九頭竜ブロック
不死鳥ブロック
あたごブロック

●特別講演

テーマ | 取り入れてみよっさ!地域防災にみんなの声を
講師 | 芹川 由布子氏 福井工業高等専門学校 環境都市工学科 助教
福井県防災士会理事

●展示スペース

男女共同参画推進ブロック事業パネル展、福井男女共同参画ネットワークパネル展 等





2022年度

男女共同参画・子ども家庭センター 開催講座・イベントレポート

アイラム
編集委員が
取材に行っ
てきました！

男女共同参画講演会

開催日：2022.6/19

学校では教えない
身近なお金と経済のこと講師：バックンマクン
日本人と米国人のお笑いコンビ

今年度の男女共同参画講演会は、結成25周年を迎えたアメリカ人と日本人のお笑いコンビ バックンマクンによる「お金と経済」についての講演でした。

お金と経済と聞くと固い内容に思えるかもしれませんが、そこはやはりお笑いコンビのバックンマクン。「10億円貰ったらどうする？」から始まり、次の内容について漫才をしつつ説明してくれました。①お金の入手方法(収入)、②お金の使い道(出費)、③お金の節約、④お金の貯め方について、日米コンビらしく日米の習慣の違いなども交えての説明です。

また、投資にはリスクがあるが、ただ貯金することにもリスクがある。「72の法則」という $72 \div \text{利回り} = \text{投資額が倍増する年数}$ という法則も併せて教えてくれました。楽しく笑いながら時間が過ぎ、気がつくとお金について改めてきちんと考えようと思わせてくれる講座でした。



- 大変面白かった。2人の軽妙な掛け合い、そういうのは初めてだったので楽しかったです。
- 面白かった。最初は投資を勧めているのかなって思ったが、お金は大事な事です、お金を大切に使いなさいというお話だった。お金を維持していく事は難しい。老後に向けて増やしていくことが大事な。

管理職準備講座〈3回講座〉

開催日：2022.9/22・9/29・10/6

自分に自信を持って
現場に立つために講師：山内 喜代美氏
株式会社ドリームワークス代表取締役

この講座は、キャリアアップへの不安を解消し、管理職になるための意欲向上を目的に実施しています。募集は、20～40歳代の働く女性で、リーダー的役割にある方や管理職を目指す方を対象にしています。

今回の講座内容は、自分の感情コントロールがメインテーマで、上司や部下に対して、相手を傷つけないようなどのようなコミュニケーションをとるか？自分の主張を伝えるために、どのようにして相手と意見を交わし、柔軟に受け止めるか？を学んでいました。



- 他の会社の人の意見も聞いて良かったです。モチベーションが上がりました。
- 管理職の立場で参加しましたが、感情コントロールの大切さ、そのために気持ちをどう抑えるかがとても勉強になりました。

家庭生活充実支援講座

開催日：2022.9/11

「紙ぶるる」で見える!わかる!
防災のポイント講師：辻子 裕二氏
福井工業高等専門学校 環境都市工学科 教授

この講座は、家族で家庭の防災について学ぶ親子参加型防災を目的に実施しています。最初に防災かるたやクイズで防災の知識を学び、子どもたちは積極的に手を挙げてクイズ自体を楽しみながら、大人たちはなるほどとうなずきながら実践的な防災ポイントを学ぶことができました。その後、ペーパークラフトの「紙ぶるる」を自分たちで作製、実際に揺らしてみることによって耐震性のある建物について体験しながら知識を身に付けました。



- クイズが楽しかった!パツテンの柱(筋交い)のある家が作れて面白かった! (お子さんの声)
- 子ども達と防災について話さきっかけになりました。少しでも話し合っておけば、いざという時に役立つと思いました。

※「紙ぶるる」は名古屋大学福和研究室「ぶるる君の自己紹介」ページよりダウンロードできます。
<http://www.sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp/data/labofT/bururu/index.htm>



DV・ハラスメント防止講座

開催日：2022.10/3

デートDV防止講座
～お互いを尊重した関係とは～講師：長谷川 美香氏
福井大学医学部看護学科
コミュニティ看護学 教授

この講座は、交際相手から受ける暴力(デートDV)の防止を目的として、学生を対象に実施されました。

デートDVを理解する3つのコツとして、デートDVは身近な問題であるということ。身体的(妊娠時含め)、精神的においても暴力が女性の健康に影響を与えるということ。暴力をふるう理由、暴力を受けても別れない理由を知ること。この3つの大切さを、内閣府の調査結果などを基に分かりやすくご講義いただきました。

今一度、お互いを尊重し合える関係を大切に、自分にはDVなど関係ないと他人事ではなく、自分にも身近にも起こりうる問題として捉えていかないといけない問題だと実感しました。そして、もし周りから相談を受ける際は、言葉や言葉の使い方を丁寧に聞き、必要な相談窓口につなげることも大事な行動のひとつなのだとする講座となりました。



- 男女両方の立場に立って説明して下さったのでとても良かったです。
- 具体例を挙げた説明で、分かりやすかったです。DVについて詳しく学べて良かったです。

DV(ドメスティック・バイオレンス:恋人や配偶者から身体的や精神的に振るわれる暴力)

福井市男女共同参画 啓発パネル展

開催日：2022.6/23～6/30

主催者：福井男女共同参画・
子ども家庭センター

市では、国の「男女共同参画週間（6月23日から6月29日）」にあわせて、毎年アオッサ1階のアトリウムでパネル展を開催しています。

主催者以外にも、男女共同参画ネットワークや子育て支援室・相談室、桜木図書館がパネル展示を行っていました。

展示物の「男女共同参画のあゆみ」では、平成元年度（1989年）から今年度に至る34年間の活動内容が紹介されており、先人たちの足跡をたどることができました。



- 「あゆみ」を見て長い活動内容を知りました。多くの方々の努力に感謝します。
- センターが実施している講座が一目でわかりました。機会があれば参加したいです。

その他にも様々な講座・イベントを行っております
開催講座については右記QRコードもしくは福井市HPからご覧ください



多文化共生



多様な文化を認め合うまちづくり

外国人の子どもたちにどのようなサポートが行われているかご存じですか？

多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義されています。そのため福井市では、日本語指導ボランティアの育成や交流型の日本語教室を実施したり、外国人の居住や教育、労働に係る生活支援事業も行っています。また、多文化祭（グローバルフェスタ）などを実施して、様々な国の人たちが手をつなぎ、ともに支えあうまちづくりにも取り組んでいます。今回、4年ほど前から日本語指導に取り組まれている鈴木一美先生から、外国人児童や帰国子女に対する日本語指導ボランティアの取り組みについてお話を聞いてきました。



鈴木 一美先生

外国人の子どもに接する際、何がたいへんですか？

子どもたちがどの国からやって来たのか？ 子どもを取り巻く環境がどうなのか？ など、子ども一人一人が本当に個性があって様々です。

例えば、漢字圏でない国からやって来た子は、漢字を覚えることがとても高いハードルになります。親は仕事の事情で来日しているので、日本語を学ばなければならないと思いますが、子どもたちは親の都合で日本に来たので、中には勉強の意欲がわかない子もいます。その点が難しいところで、私は、日本語に興味を持ってもらえるような色々な工夫をして分かりやすい教材づくりに励んでいます。



ボランティア活動の原動力は何ですか？

元々の国の文化の違いから、学校の校則や規制、集団生活に慣れるのが難しい子がいます。多種多様な事情もあり、子どもたちの個別の悩みに対応することは大変ですが、子どもたちが困難を乗り越えて成長していく姿を見ることがほんとうに楽しみです。そんな子供たちに寄り添えることがこのボランティアの魅力です。

今回の取材で、外国から来た子どもたちの苦勞がよく分かり、その子どもたちに優しく寄り添い、サポートするボランティアの皆様存在はなくてはならないものと痛感しました。こうした活動をより多くの皆様に知って頂き、応援の輪が広がればいいと思いました。

男性の視点



フェムテック商品から学びたいこと

フェムテックって何？

『フェムテック』とは女性が抱える健康課題を、テクノロジーで解決する商品やサービスを意味します。

語源は、「Female(女性)」と「Technology(技術)」を組み合わせた造語です。

フェムテックの関連市場は欧米を中心に拡大してきましたが、日本においても「女性の社会進出」や「働きやすい職場環境の追求」を背景に起業や投資が加速しています。

県内でも、「繊維王国ふくい」ならではのテクノロジーを活かした商品開発が熱を帯び、様々な商品が誕生しているの、実際どのような企業や商品があるかを紹介します。

セーレン(株) 福井市

凹凸のある特殊素材で編んだ吸水ショーツを開発した。吸水後のサラサラ感と伸縮性の高い素材により、快適な着用感を提供している。大手アパレルメーカーにも採用されている。



イーゲート(株) 福井市

生理前後の健康課題である「体の冷え」に着目して商品を開発した。保温性の高いレーヨンを混合したアクリル繊維を採用した腹巻や、吸水・抗菌性を高めた5層構造の吸水ショーツを製品化している。

※資料は各社ホームページより

フェムテック商品から学ぶべきことは？

「フェムテックは女性だけのもので男性には関係ない」と思われがちですが、私は「そうではない」と考えています。なぜなら、女性特有の生理や更年期の問題について「触れていいものかどうか？分からないよ」と思っている男性は、フェムテックの商品やサービスを通して、「性」の問題をオープンに話せるきっかけになると思うからです。

企業がフェムテック商品を開発するための第一歩は、声に出づらい女性の悩みやニーズに寄り添うことから始まります。こうした企業マインドを学ぶことで、女性が働きやすい職場環境に気づき、男女共同でより良い職場環境を築いていくことを強く願っています。

地域づくり



誰もが暮らしを楽しめる場所を

～福井市足羽ブロックのまちづくり・公民館活動～

皆さんは、公民館と聞いて何を思い浮かべますか？ 福井市には8つのブロックに分かれて49の地区公民館があり、そのほとんどが小学校区という最も身近な地域に配置されています。地域に密着した職員体制のもと、幅広い世代に向けた教育講座の企画・運営を行っています。また、公民館は自主的な学びの場として、地域の人たちが集う場でもあり、社会教育、生涯学習の拠点としての役割を果たしています。今回は地域活動が盛んな足羽ブロック（酒生・一乗・上文殊・文殊・六条・東郷・美山）のまちづくりや公民館活動の一部を紹介します。



地域の灯を、人のつながりとともに 越前朝倉万灯夜

平成16年(2004)の福井豪雨による被害からの地域復興の願いとボランティアへの感謝から毎年8月に開催の越前朝倉万灯夜が始まりました。今では一乗谷朝倉氏遺跡の夏の幻想的な風物詩ですが、足羽ブロックの7つの公民館地区の人たちが交流するための場でもあります。当日は点灯準備からはじまり、随時各々のテントで様々な交流が生まれていました。公民館長や自治会連合会のみなさんたち、地域に暮らす子どもや若者たちが役職や肩書関係なく、このイベントを通して楽しく話す姿が見受けられました。

ローカル線の沿線のお宝さがし 越美北線魅力発見隊

車社会の中で存続が危ぶまれるローカル線。福井市から大野市の九頭竜湖駅まで続く越美北線もそんなローカル線のひとつです。「越美北線を住民の手でもっと魅力的に」をコンセプトに東郷地区に住む人たちを中心として「越美北線を考える会」が発足。沿線の魅力をまあるきしながら再発見し、マップ作りをしていく活動が現在進行中です。ほぼ毎月沿線の駅前に集合し、その地域を住民のみなさんが歩きながら、隠れていた地域のお宝を文字通り足をつかって発見しています。新幹線が開通した時、越美北線が地域の皆をつなぐかけ橋になるよう、地道で確実な発掘活動が動き出しています。



ワーキングママの子育てエッセイ Part15

昨今、自然災害は毎年といっても過言ではないほど“いつどこで”発生してもおかしくない時代になっていると感じているのは、きっと私だけではないかもしれません。

頻発する災害に備え、自分にいったい何ができるのか「防災」のことを改めて考えた時、耳にした「フェーズフリー」という言葉。「フェーズフリー」とは日常と非日常の時間(フェーズ)を切り離さず、非常時にも使えるものを日常に取り入れるというもので、グッズやサービスなども含め「備えない防災」として今注目されている考え方です。

その考え方からすると、家族で行くキャンプや山登りから得るサバイバル的な創意工夫のヒントも、缶詰や乾物などの食材も備蓄しながら普段の食事に活用することも、実

は「フェーズフリー」な暮らし方をしていたのかも、防災に対して身構えず少し前向きになりました。

そしていまでもこれからも、暮らしの中で意識しながら、でもあまり意識しすぎず「備えない防災」を実践していきたいと思います。

私自身がエコバッグとして普段から活用している“風呂敷”。ものを包んだり運んだりするだけではなく、肌寒い時には肩から掛けてショールやストールとして活用したりも。日常でも非日常でも何役もこなしてくれる風呂敷は、自分にとってかせないフェーズフリーなアイテムのひとつになってくれているありがたい存在です。



編集後記

福井県は、幸福度日本一とされていますが、幸福実感度となるとランクは高くないようです。OECD統計によれば、日本は男女の賃金格差が世界的にも大きく、女性就業率の高い福井県の女性が幸福を実感できない一因になっているかも知れません。女性の活躍を推進するには、賃金のみならず、様々な観点から女性が幸福へ向かう未来が見えることが大切であると考えます。今回発刊したアイアムが男女共同参画社会の実現に何が課題なのかを考える一つのきっかけになれば幸いです。(向坂)

企画・編集／アイアム編集委員

牛久保 星子 鎌田 正弘
末吉 珠美 向坂 英治
山本 瑞恵 (五十音順)

DVに関する相談機関

夫婦や恋人などからの**身体的暴力・精神的暴力・経済的暴力・社会的暴力・性的暴力・子どもを巻き添えにした暴力**に対し、下記機関があなたを支援します。

相談機関名		住 所	電話番号	受付時間
福井市ひとり親家庭就業・自立支援センター		福井市大手3-10-1	0776-20-5140	月～火、木～金曜 8:30～17:00 (祝日・年末年始休み)
福井市男女共同参画苦情処理機関		福井市手寄1-4-1	0776-20-5353	月～金曜 8:45～17:30 (祝日・年末年始を除く)
配偶者 暴力被害者 支援センター	福井県生活学習館 (ユー・アイふくい)	福井市下六条町14-1	0776-41-7111	火～日曜 9:00～17:00 (第3日曜、祝日の翌日、年末年始を除く)
	福井県総合福祉相談所	福井市光陽2-3-36	0776-24-6261	月～金曜 8:30～17:15 毎日 17:15～22:00
	福井健康福祉センター	福井市西木田2-8-8	0776-36-2857	月～金曜 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)
福井県警察本部 警察総合相談室		福井市大手3-17-1	#9110または 0776-26-9110	毎日 24時間対応
男性DV電話相談 (男性相談員による男性のための相談)		福井県	080-8690-0287	第1～4水曜 9:00～13:00
福井県人権センター		福井市手寄1-4-1 (アオッサ7階)	0776-29-2111	火～金曜 9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)
福井地方法務局 女性の人権ホットライン		福井市春山1-1-54 (福井春山合同庁舎)	0570-070-810	月～金曜 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)
公益社団法人 福井被害者支援センター		福井市宝永3-8-1	0120-783-892	月～土曜 10:00～16:00 (祝日・年末年始を除く)
DV相談ナビ (配偶者等からの暴力被害者相談窓口)		内閣府	#8008	最寄りの窓口に自動転送 各機関の相談受付時間
DV相談+(プラス)		内閣府	0120-279-889	毎日 24時間対応

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(DV防止法) があなたを守ります。